

II 首都大学東京に関する目標を達成するために取るべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

<p>大項目番号 1</p> <p>【教育内容等に関する取組】 入学者選抜～意欲ある学生の確保～</p>	<p>(中期目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アドミッションポリシーに基づいて質の高い学生を確保するため、選抜方法の充実を図るとともに、その成果を検証し、必要に応じて見直しや改善を図る。 ○ 大都市課題の解決に意欲を持ち、社会に積極的に貢献する人材を、幅広く募集する。 ○ 意欲ある学生を積極的に受け入れるため、東京都立産業技術高等専門学校や都立学校等との連携を強化する。 <p>(平成25年度における特色ある取組、特筆すべき優れた実績を上げた取組、その他積極的な取組)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 当該大項目における特色ある取組、特筆すべき優れた実績を上げた取組、その他積極的な取組及び今後の課題、改善を要する取組について記載する。</p> </div> <p>(今後の課題、改善を要する取組)</p>
---	---

中期計画	中期計画の達成状況						No.	平成25年度計画	自己評価	平成25年度計画に係る実績
	23	24	25	26	27	28				
<学部>										
<p>① 本学の基本理念が広く社会に認知・評価されるよう、具体的な教育目標や求める学生像を明確にし、アドミッションポリシー等を通じて社会に対して積極的に発信していく。</p>	★	→	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>○ 中期計画達成済みの場合は、その旨年度計画欄にも記載する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>(中期計画の達成状況) ○ 当該項目における中期計画の達成状況について、記載する。</p> <p>★…中期計画を達成した。(達成年度に★印) →…すでに中期計画を達成しているが、引き続き実施している。</p> <p>(平成24年度までの実績) ○ 平成24年度までの当該項目における実績を記載する。</p> </div>	<p>【平成〇年度に中期計画達成済み】</p> <p>[新規]グローバル人材育成入試の準備を行う。</p> <p>・教育を取り巻く状況等を踏まえ、本学の求める学生像に合致した入学者を確保するため、アドミッションポリシーについて不</p>	<p>1 グローバル人材育成入試の準備</p> <p><取組事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○ <p><成果・効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 法人による自己評価S・A・B・Cの4段階を記載する。</p> <p>S…年度計画を当初予定より大幅に上回って実施している。(顕著な実績又は特に優れた成果が認められるもの) A…年度計画を当初予定どおり実施している。(おおむね90%以上) B…年度計画の実施状況が当初予定を下回っている。(おおむね60%以上90%未満) C…年度計画の実施状況が当初予定を大幅に下回っている。若しくは年度計画を実施していない。(おおむね60%未満)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 当該年度計画に関する取組事項及びその成果・効果を実施した事業ごとに、連続して記載すること。</p> <p>○ 成果・効果欄は可能なかぎりデータを用いて具体的に示し、必要に応じてその増減理由を記載すること。また、例年、同内容で継続して実施している事業の「成果・効果」は、データ表のみの記載とする。</p> <p>○ 法人及び大学・学校が最重要課題として積極的に取り組んだ項目がある場合は、当該項目をゴシック体で示すこと。</p> <p>○ 再掲がある場合は、「(○○再掲)」と記載すること(年度計画、実績とも)。</p> </div>			
<産学公連携センターの再整備>										
<p>② 産学公連携センターにおいては、今後、各大学・高等専門学校が有する知的資源の活用を最適化していくため、将来を見据えた基本戦略を策定し、産学公連携機能のあり方を体系的に整理する。また、センターと各経営・教学部門との連携強化を図るため、各大学・高等専門学校の特性・実情等を踏まえた、研究支援ニーズへの的確な対応、連携コーディネート機能の拡充、センターの組織体制の整備等を推進する。</p>			<p>・産学公連携センターが各大学・高専が有する知的資源を最大限活かすため研究面における着実な教員支援を行うなど、各大学・高専の研究成果の社会還元を推進する。(4-10再掲)</p>	<p>1 研究面における着実な教員支援</p> <p><取組事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ×××……………。(4-10再掲) ○ <p><成果・効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 						